みなみっ子

82号

令和８年 11 月 11 日（水）
南城市立大里南小学校
文責　校長　與儀　毅

学校教育目標　　自立　　協働　　創造

体育発表会について

勝ち負けを中心とした従来の運動会から「学習成果の発表」へ転換する際、単なる規模縮小や簡略化ではなく、教育目標を実現するための意図的な教育活動であることを伝えることが理解促進のカギとなります。

1　学校教育目標と体育発表会の関連

教育目標	体育学習発表会における児童の姿・ねらい	保護者に伝えるメッセージ
自立	自分のめあてに向けた主体的な練習 ・自分の役割（係活動、準備）を責任を持って果たす	「誰かに指示されるのではなく、自分の課題に挑戦し、達成感を味わう姿を育てます」
協働	・仲間と励まし合い、動きを合わせる工夫 ・互いの得意・不得意を認め合い補い合う	「勝ち負けを超えて、一つの表現や種目を仲間とつくり上げる一体感と絆を深めます」
創造	・ダンスの表現や隊列、作戦を自分たちで工夫する ・学習した運動の組み合わせや見せ方を考案する	与えられた演技をなぞるだけでなく、自分たちのアイデアを取り入れた発表を創り出します」

2　今年度の「体育発表会」の開催について

本校では、学校教育目標である「自立・協働・創造」の育成を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。今年度の体育学習発表会においても、単に練習成果を披露するだけでなく、児童が主体となって学びを深める場として考えています。

①【自立】自らめあてをもち、諦めずにやり抜く姿

一人ひとりが自分の体力や技能に応じた目標を設定し、日頃の体育科授業の中で練習を重ね、本番では、自分の役割に責任をもち、最後まで誇りをもって表現・競技する姿を目指す。

②【協働】仲間と声を掛け合い、支え合う姿

学年での表現活動や団体種目において、得意な児童がアドバイスをしたり、リズムを合わせるために話し合ったりと、互いを認め合い支え合う「協働の学び」を大切にします。

③【創造】自分たちで工夫し、つくり上げる姿

今年度は、隊列の工夫や表現の一部、種目の作戦などを児童自身が考え、アイデアを出し合いながら創り上げ、子どもたちの主体性と創造性が詰まった発表を目指します。

